

あおもり漁連

資源有限漁業無限

No.
120



鱒ヶ沢漁港へ入港する底建網漁船

CONTENTS

- 平成11年度青森県漁連通常総会開催..... 1
- 「水産基本政策確立全国漁協組合長緊急集会」開催 3
- 漁業権管理制度の見直し等について要望..... 5
- 6月18日は「ホタテの日」記念イベント開催..... 6
- 水産団体役員改選報告及び県内漁協組合長改選報告 6
- 県内漁協紹介（鱒ヶ沢漁協） 7
- 主な水産に関する動き..... 9



マダイの大漁で賑わう鱒ヶ沢漁港

2000 8

平成十一年度（第五十一回事業年度）青森県漁連通常総会開催

平成十二年六月十二日、青森県水産ビル七階大会議室において、青森県漁連平成十一年度（第五十一回事業年度）通常総会が開催され、平成十一年度決算、平成十二年度事業計画など七議案を審議、いずれも原案どおり承認決定されました。



総会風景

この日の総会には、六十四会員中六十二会員が出席のほか、来賓・関係者が集まるなかで開催されました。

開催にあたり、植村正治県漁連会長の挨拶（要旨は別掲参照）があり、続いて来賓の木村守男青森県知事より祝辞があり、議事に入りました。

議事は、三上二彦今別町東部漁協組合長を議長に選出し、第一号議案の平成十一年度収支決算を始めとする七議案が上程され、いずれも原案どおり承認決定されました。

平成十二年度重点推進事項

1. 漁協経営基盤強化対策推進
2. 漁業生産基盤強化、増養殖事業等の推進
3. ほたて、いか、さけ、ひらめ、その他漁業の安定生産のための諸対策
4. 水産物付加価値向上、加工新製品開発及び衛生管理への取組
5. 漁業経営の安定・向上のための諸活動
6. 水産物、水産製品の消費拡大のための諸対策
7. 漁業用石油類、資材の安定供給
8. 漁業環境保全対策
9. その他の諸活動



挨拶を述べる木村知事



挨拶を述べる植村会長

今年は2000年という、この栄えある年に総会を開催することになったわけですが、二十世紀を前にした非常に重要な年でもあります。昨年は、我々数十年来の懸案であるところの日韓・日中漁業協定による枠組みが成立された記念すべき年となりました。

昨年一月二十二日の日韓、今年六月一日の日中の協定が発効したことは、漁業界と日本の外交との連携努力の賜物と考えております。

日韓・日中、特に日韓漁業協定に際しましては、日韓新協定対策漁業振興財団が創設され、浜の要望を受けた全漁連の立場において、国に対し強力に要請して参った経緯がございます。

二十一世紀に向けての枠組みとしての漁業基本法につきましても、数年来、大会等を開催しながらこの問題に挑んで参りましたが、昨年、自民党水産部会で取上げていただき、水産漁業大綱として行政的にも認知され、更に法律として来年一月の通常国会に提出すべき準備が進んでいるところであり、国民の食料自給の立場から言っても大きな前進であると評価されております。

今、漁村で一番渴望されている問題は、トイレの水洗化・生活雑排水の浄化槽の設置であり、科学洗剤等が直接漁場に流入する状況は、漁場の老化と、行々は藻場・干潟の消滅を意味するとともに明治からのトイレ方式は現在の若者に敬遠され、漁村嫌いの第一要因となっております。この話に政治家の先生方が大いに興味を示し、先般の漁民大会においても五千億円の準備費から直ちに予算化を進めたいという話になっております。しかし、そのためには県や市町村

の負担が大きくなってしまふということがありまして、その中で青森県は15%もの助成をしているということについて、中央では驚いているところであります。実際こういつた助成は数少なく、生活者の負担が大きくなってしまふのが常であり、仮に市町村が受益者に負担を掛けないように考えても、予算が1/10から1/15しか出ず、都市部の65%と比較した場合、六十年経たないと都市部の浄化槽設置レベルに達しないのであります。この問題を政治家に取り上げられるようになったということにつきましては、有意義な大会であったと喜んでおります。

県漁連といたしましても、漁業者の問題を取り上げて早期改善し、資源回復・漁場回復を図り、魚の住みよい海を創ることが課題となっております。

漁協経営につきましても容易ならざるものがありますので、組織統合・合併ということに対し決断を下し、新しい時代に対応できる組織づくりをして行かなければならないということを強く感じております。

先般、県漁連といたしましては、指導部を通して各単協の経営実績について検討することということで、組合長・参事会議を開催し、自己診断を提出していただくことで進めて参りましたが、協賛と評価をいただいていることについて、大変ありがたく思っております。今後の漁協経営の具体的実現に向けて、一層努力されることをご期待申し上げます。

本会の今後の経営につきまして叱責・助言を賜りますようお願い申し上げます。甚だ措辞ではございますが、総会の挨拶とさせていただきます。



挨拶を述

水産基本政策確立全国 漁協組合長緊急集会開催

去る6月1日、東京・千代田区平河町の砂防会館において、全漁連・漁業基本対策推進本部主催による「水産基本政策確立全国漁協組合長緊急集会」が開催された。

集会には、全国から1,000人の漁協組合長・漁業関係者が参加した。本県から32人が参加。

集会では、植村全漁連会長が主催者を代表して挨拶を行い、この集会是来年制定が予定されており、また21世紀の漁業漁村の道標となることを期待される水産基本法が、真に漁業・漁村の活性化につながる政策となるよう強く政府・国会に求めるとともに、自らも経営の合理化、漁協合併、自主自立を目指す漁協の構築と、漁業・漁村のもつ多様な機能を発揮することがで



挨拶を述べる植村全漁連会長

きる強力な漁業協同組合をつくる決意を示す大会である。そのためにも水産政治力の結集の旗を掲げ前進していこう」と挨拶をした。続いて、濱野勝男・北海道島牧漁協組合長が「水産基本政策の確立」、中村喜代美・新潟県漁連会長が「漁村環境整備の促進」、太田義友・山口県豊北町漁協組合長が「漁協合併再編促進の緊急政策確立」について、それぞれ意見表明・決議が行われ、いずれも満場の拍手で採択された。

また、自民党を代表して亀井静香政調会長が、「日韓・日中の新漁業協定が発効し、新たな2

00海里時代を迎えた。この協定締結に自民党は全力を尽くしてきたが、今後とも操業秩序や資源管理などで何か問題があれば自民党水産部に直接言っつけてほしい。

党が全面的に責任をもつとともに、政府との連携も密にして対処する。漁村活性化の大きなテーマとなっている集落環境整備事業も必ず実行してみせる」と政党所信表明を行った。

集会終了後、本県参加者は本県選出自民党国会議員へ決議内容の実現に向けて活動を展開した。

水産基本政策の確立に関する決議

わが国水産業は、国民食料供給産業として持続的に発展し、国民生活の安定に貢献していかなければならない。このため、国は、昨年末まとめた水産基本政策大綱に基づき、水産基本法の制定、並びに関連制度の整備をはじめとする政策の具体化の準備を進めている。

よって、これらが真に漁業・漁村の活性化につながるため、特に、下記政策の実現を政府・国会に強く要望する。

記

1. 減船・休漁等、水産資源の回復のための漁業者の取組に対する十分な経営安定措置を講ずること。
2. 活力ある担い手の経営安定のため、漁業制度の改革・拡充等、漁業経営安定対策の充実を図ること。
3. 産地市場統合の推進を核とした水産物流通の効率化等、消費者二重への対応を図るための総合的な施策を講ずること。
4. 関連事業の一体的・効果的な実施により、資源増殖から生産、流通に至る総合的な水産基盤の整備を図ること。

漁村環境整備の促進に関する決議

現状、漁村における生活雑廃水処理、トイレの水洗化、交通アクセス等の整備は、都市部と比較して著しく遅れており、その格差が甚だしい。

このため、生活雑廃水がそのまま海に流入することにより、産卵や稚魚の育成を阻害するなど、水産資源に深刻な影響を及ぼしている。水産物の持続的利用を推進し、また、若者をはじめとする漁村生活者にとって住み良い生活環境を構築するため、下水道等の普及率向上は極めて重要かつ緊急の課題である。

しかしながら、現行の事業体系では、市町村や受益者の負担が大きく、整備が進んでいない状況にある。

よって、これが整備を短期間に実現するため、下記政策の実現を政府・国会に強く要望する。

記

1. 漁業集落環境整備事業等の市町村・受益者の負担を軽減するための財政措置を実施すること。

2. 関係予算の大幅な引き上げと、事業採択要件の改善等事業制度を充実し、早急な整備を図ること。

漁協合併再編を促進する緊急政策の確立に関する決議

漁協系統は、国民への水産食料の安定供給を担う漁業と漁村の中核的組織として、新政策の下で、資源の回復、担い手の育成、水産物流通の効率化などの役割を果たす立場にある。

このため漁協系統は、強いリーダーシップのもと、次の組織・事業改革を断行する。

- 「自立漁協」の早期構築に向けた、合併・事業統合の確実なる実践
- 金融環境の激変に対処できる漁協信用事業実施体制の整備
- 経営・管理体制の確立

よって、合併・事業統合を実践し、21世紀にふさわしい漁協づくりを促進するため、下記の緊急政策の確立を政府・国会に強く要望する。

記

合併・信用事業統合を確実に進め、かつ、合併後の漁協が健全な経営を維持し役割を發揮できるよう、抜本的な財政支援と必要な関係法制度の改正を図ること。

漁業権管理制度の

見直し等について要望

青森県定置漁業協会は、去る六月六日水産庁を訪れ、青森県の定置漁業者が抱える具体的な諸問題の解決をめざし漁業権管理制度の見直し等についての要望を植村県漁連会長同行のもと北原資源管理部長他関係者に陳情した。陳情内容は次のとおりです。

〔陳情者〕

青森県漁業協同組合連合会

代表理事会長 植村 正治

(青森県定置漁業協会 顧問)



陳情風景

漁業権管理制度の見直し等について

平素より定置漁業の振興につきまして特段のご指導、御鞭撻を賜り熱く御礼申し上げます。

さて、日中、日韓新漁業協定の発効により、国際ルールに基づいた新たな国際海洋秩序が確立され、本格的な200海里新時代を迎えて不振が続く沿岸漁業の振興は、目下の急務となっているところであります。

このような状況に直面している中で、困におかれましては昨年末21世紀の漁業、漁村政策の方向を示す「水産基本政策大綱」と「改革プログラム」をまとめられ、今後はこれに基づき、「水産基本法(仮称)」の立法化と併せて、真に漁業、漁村の活性化につながる基本政策の確実な展開を図っていくものと、本県定置漁業者は大きな期待を寄せ、漁業展望を持って資源管理型漁業の実践に努め、ひらめ、さけ等着実な成果を挙げているところであります。

しかしながら、下北半島の太平洋海域一帯から八戸沖に至る海域においては、沿岸漁業(するめいか・木釣、定置網等)底引網漁業、まき網漁業等が重複、入り乱れて採る漁場海域があり、一定の自主規制もありながら資源の乱獲、枯渇が危惧され、大変な漁獲不振の実態にあります。又、本県津軽半島から日本海沿岸一帯においても同様に共同漁業権漁場の中に底引き網漁業が重複しており、漁業資源の損失は多大であります。

同一漁場に漁業権が重複して与えられていることは、今後の資源管理型漁業の構築にあたって重大な支障が生じることであり、是非とも避けなければならない課題であります。

については、漁業権管理制度の見直しに際しては、資源管理型漁業や海域の合理的利用の観点から、漁業間の棲み分け等、新たな枠組みづくりについて、また、当面のさけ定置漁獲規制の条件緩和等について下記事項を実現して頂きたいと要望申し上げます。

記

1. 本県下北半島の太平洋海域一帯から八戸沖に至る海域においては、距岸6.8海里以遠を底引網漁業、まき網漁業の操業区域として頂きたい。
2. 本県津軽半島から日本海沿岸一帯においては、共同漁業権漁場の沖出し点から、沖合1,000メートル以遠を底引き漁業の操業区域として頂きたい。
3. 今後とも現行以上の人中型まき網船の大型化が可能となる許可は行なわないで頂きたい。
4. さけ定置漁業のさけ漁獲規制の条件緩和を実施して頂きたい。

青森県定置漁業協会

会長 西崎 義三

(西崎漁業部 代表)

副会長 坂本 貢

(坂本漁業部 代表)

理事 佐藤 由仁

(佐藤漁業部 代表)

監事 吉田 みさ

(吉田漁業部 代表)

会員 徳田 徳次郎

(徳田漁業部 代表)

会員 木村 常紀

(六ヶ所海水漁協 組合長)

会員 種市 徳三

(北栄漁業生産組合 組合長)

会員 熊野 稔

(共栄漁業生産組合 副組合長)

会員 橋本 達明

(六ヶ所村漁協 参事)

「ホタテの日」

むつ湾ホタテ記念イベント開催



青森県漁連（植村正治会長）とむつ湾漁業振興会（三津谷廣明会長）は、昨年制定された「ホタテの日」6月18日、青森市と平内町で記念イベントを開催した。青森市アスパム前では、ほととの無料配布の午前10時には約300人の行列をつくった。

三津谷会長は、開会で「青森ホタテはグリコーゲンが豊富な今の時期が大変おいしい。これからも皆さんにおいしいホタテを提供して参ります」と挨拶

拶をした。その後、一般者1、500人へポイルホタテを無料配布し、来場者にはホタテのバター焼きの試食を行った。駆けつけた一般者は、「甘味があり大変おいしい」と笑顔で話し、イベントは盛況の内に終わった。

この日は、同時に平内町の大島パークと夜越山でも行われ、むつ湾市町村へ隣接する13市町村の27福祉施設へもホタテが贈られた。



老人福祉施設へホタテ贈呈をする三津谷会長



ホタテの無料配布風景



ホタテ貝焼を試食する一般者



水産団体役員改選報告

青森県漁業信用基金協会理事長 植村正治（新） 米澤俊次（旧）

漁協組合長改選報告

猿ヶ森漁協 竹林喜四郎（新） 田村喜八郎（旧）
八戸市南浜漁協 荒木田政信（新） 深川藤次郎（旧）

県内漁協職員紹介

● 鱒ヶ沢漁協 ●



1. 葛西利信
2. 総務課長
3. 温泉めぐり
4. 夏になれば、どうして太るのかな！

ビールの飲みすぎかな。



1. 長尾敏彦
2. 会計主任
3. スポーツ鑑賞
4. 鱒ヶ沢漁協ではジャンボでわかる

おじさんです。(身長185cmです)



1. 村上 薫
2. 販売課長補佐
3. 寝ること、ビールを飲むこと、お仕事をすること。

1. 氏 名
2. 担当業務
3. 趣味・特技
4. 自己PR

鱒ヶ沢町は、津軽半島日本海側の付け根に位置し、東西約22^{km}、南北約40^{km}、総面積3万4,283^{ha}と、県内3番目の広さを誇り、人口約1万4千人の町である。

今回は、藩政時代、北前船の寄港する津軽藩御用港として栄えた歴史の町にある鱒ヶ沢漁協の皆さんを紹介致します。



あおもり漁連



1. 小山内秀人
2. 購買係
3. ぼーっとすること、さんぽ。
4. 髪を切ったら
“ぼっちゃん”ぼ

くなっしまいました。



1. 吉田勝則
2. 購買課長補佐
3. クルージング、
魚の食べ方がじょ
うず。



1. 小田川栄一
2. 製氷係
3. 釣り、バイク、
パチスロ
4. シオサイ30は最
高!!



1. 蝦名 恒
2. 販売係
3. 料理・趣味の園
芸・生花・茶道



1. 吉田 恵
2. 信用係
3. 陶芸、七宝焼、
パッチワークetc
4. 最近娘（中2）
は私の身長を追い

越しそうで、私は主人の（体重!?)を
追い越しそうであせっている毎日です。



1. 神 和美
2. 販売係
3. ドライブ、映画
鑑賞。
4. 新車を買ったの
で、休日は主人と

ドライブを楽しんでいます。



1. 十三由美子
2. 信用係
3. ショッピング
4. 組合では最年長
の私ですが、若い
人に負けない様、

頑張っています。



1. 大塚 昌浩
2. 販売係
3. 釣り、読書、
テレビゲーム、
映画鑑賞

四月

- 1日(土) 青森海草干魚会、総会 (盛岡市)
- 10日(月)～13日(木) 日韓相互乗船等民間協力事業に係る韓国訪問 (韓国)
- 12日(水) 漁協専務参事会、総会・研修会 (浅虫)
- 14日(金) 青森県昆布協会、総会 (秋田市)
- 17日(月) 対EU輸出ホタテガイ対策関係会議 (青森市)
- 19日(水) 漁業共済掛金助成等事業について日韓漁業振興財団へ陳情 (東京)
- 28日(金) フランスマルセイユ漁業委員会来会 (青森市)



六月

- 1日(木) 水産基本政策確立全国漁協組合長緊急集会 (東京)
- 5日(月) 青森県漁業環境保全振興協会、通常総会 (青森市)

関する動き

月

6月

- 12日(月) 青森県漁業経営安定対策本部、通常総会 (青森市)
- 13日(火) 青森県漁業協同組合連合会、通常総会 (青森市)
- 16日(金) 青森県小型いか釣漁業協議会、通常総会 (青森市)
- 18日(日) 「ホタテの日」イベント開催 (青森市、平内町)
- 22日(木) 八戸沖操業協定会議 (東京)
- 23日(金) 青森県信用漁業協同組合連合会、通常総会 (青森市)
- 26日(月) 青森県漁業共済組合、通常総会 (青森市)
- 26日(月) 全国漁業協同組合連合会、通常総会 (東京)

土 日

四月六五

・水産基本政策確立全国漁全 協組合長緊

13月六

・組合急集会（東策確立全国京）全協組合長緊

12月六

・北海道入漁操業協定会議（札幌市）

14月六

・全国いか釣協会全体会議（東京）

33月六五

・青森県漁港協会、通常総会（青森市）

・青森県沿岸漁場開発協会、通常総会（青森市）

・青森県水産振興会、通常総会（青森市）

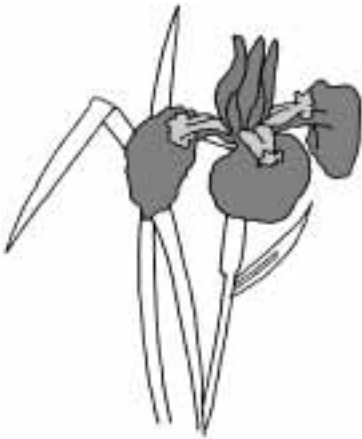
・むつ湾漁協組合長会議（青森市）

32月六

・青森県漁場監視団連合会、総会（青森市）

71月六

・小型いか釣漁業スルメイカTAC管理委員会（東京）



主な水産に

4 月

5

38月六

・水産基 協組合長緊

・組合急水産基（東策確）国政 漁全

・通（東策確全国政）漁全 協組合長緊

・通（東策確全国政）漁全 協組合長緊

39月六

・青森県漁船海難防止協議会、通常総会

・青森県水難救済会、通常総会（青森市）

・青森県漁協経営安定対策協会、通常総会（青森市）

・青森県漁協経営安定対策協会、通常総会（青森市）

・青森県漁協経営安定対策協会、通常総会（青森市）

月六

・組合急青森（東立全国（東県京業経営安定対部、通常基総市同連）協 緊

月六 四月六

・青森県定置漁業協会、先進地視察研修（千葉）

月六

・日韓対策事業検討委員会（東京）

・秋さけ資源管理協議会

太平洋部会・日本海部会（東京）

